

子育て支援
日本一
挑戦中!

わらべが真ん中、天童市!



SUMU NARA TENDO

天童市ウェルカムガイド



山形県天童市健康福祉部子育て支援課
〒994-8510 山形県天童市老野森一丁目1番1号
Tel:023-654-1111
E-mail:jidoukatei@city.tendo.yamagata.jp

令和5年12月発行

山形県天童市健康福祉部子育て支援課



もくじ *Index*

天童市は、とても住みやすいまちです。

交通の便がよくて災害が少なく、

住環境も充実しています。

また、天童市は、「天から童^{わらべ}が舞い降りた」

そんな伝説が名前の由来ともいわれていて、

全国の市町村で唯一、名前に童^{わらべ}がつくまちです。

天童市は童^{わらべ}を大切にします。

ただ今、子育て支援日本一に向かって挑戦中!

このまちで子育てしながら、

天童ライフを楽しみませんか。



1 交通	4
2 住環境	6
3 子育て	8
4 支援	10
5 教育	12
6 遊び場	14
7 スポーツ	16
8 働く	18
9 イベント	20
10 移住・転入する方への支援制度	21
11 マップ	22

01 交通 Access

住みよい、ほどよい、 田舎まち

将棋駒とラ・フランスの生産量が日本一の天童市は、天童温泉を有するいで湯のまちとしても知られ、気軽に立ち寄ることができる温泉施設も充実しています。また、教育・医療・商業施設等の都市機能が充実しているほか、特に子育て支援に力を入れている、誰もが安心して暮らせる「住みよい・ほどよい・田舎まち」です。



どこへ行くにも、便利なまち。

周辺へのアクセスがよい

山形県の主要道である国道13号とJR奥羽本線が市の中央部を南北に走ります。通勤や通学で隣接する市へのアクセスに利用されています。

天童市中心部	約30分	山形市中心部
天童市中心部	約15分	東根市中心部

県外へのアクセス接点が多く、スムーズ

仙台へは国道13号と山形自動車道を利用して70分。福島へは天童インターチェンジから東北中央自動車道を利用して100分。JR天童駅から山形新幹線、車で10分のおいしい山形空港を利用して東京など県外へもスムーズに移動できます。

天童市へのアクセス

車	東京	東北自動車道	4時間	村田JCT	山形自動車道	30分	山形北IC	国道13号	10分	天童
JR	東京	山形新幹線	最速2時間40分							天童
航空	東京(羽田)	1日2往復	60分	山形北IC	山形新幹線	10分	天童			
	大阪(伊丹)	1日3往復	70分							
	名古屋(小牧)	1日2往復	65分							
	札幌(新千歳)	1日1往復	80分							

02 住環境 *Environment*

住みやすさが自慢のコンパクトシティ。

雪が比較的少なく、暮らしやすいところが自慢のひとつ。
まちが上手にまとまったコンパクトシティです。
住宅は持ち家が約70%、貸家・アパートが約25%。
住まいの選択肢が豊富なまちです。
市の南部にできた新しいまち芳賀タウンが人気です。



芳賀タウン

芳賀タウンには、住宅地の中に県内最大級の大型ショッピングセンターがあります。すぐ近くにJR天童南駅があり、買い物を楽しむ若者が市内外から集まり、大変にぎわっています。子育て世代向けに子育て未来館げんキッズがあります。



県内最大級の大型商業施設



若者でにぎわうJR天童南駅
(平成27年開業)



屋内大型遊戯施設
子育て未来館げんキッズ

住みよさランキング

北海道・東北エリア

第1位

買い物の利便性や子ども医療費の助成などが高く評価されています。

出典：東洋経済新聞社「都市データバック」2022

天童市美術館

平成2年10月、県内初めての公立美術館として開館しました。地域に密着した美術館として、子ども向けの催しにも力を入れています。



天童市市民文化会館

定員1,200人の大ホールや展示室では、年間を通して様々な公演や展示会などが開催されています。幼児・小中学生を対象に、鑑賞教室を実施するなど、優れた芸術文化に触れることができます。



天童市民病院

地域医療の砦として、平成20年に開院しました。診療科は、内科、外科、小児科、産婦人科、整形外科、皮膚科及び脳神経外科です。また、夜間と休日は、救急告示病院として、安全・安心な医療を提供しています。



天童市立図書館

児童書が充実していて、小学校に入る前のお子さんもたくさん利用しています。小さいうちから本を読む習慣を身に付けるのに最適です。



天童市市民プラザ

天童駅に併設したバルテ内にあります。「人生に輝きを～自分らしくいつまでも～」をキャッチコピーに、幼児からシニア世代までを対象にした幅広いメニューの生涯学習講座を提供しています。



山形県総合運動公園

各種スポーツ施設を備えた、県内のスポーツ・レクリエーションの一大拠点です。週末はプロスポーツ観戦のほか、屋外の遊具や、園内の散策などで過ごす家族でにぎわっています。



03 子育て Parenting

充実した保育施設や放課後児童クラブが共働き家庭の強い味方。

認定こども園、認可保育所、放課後児童クラブ(学童保育所)が次々出来て、お子さんを温かく迎えます。子どもの医療費は高校3年生(18歳)まで無料です。天童市は子育て家庭を応援します。

認定こども園・認可保育所等

32ヶ所

共働きなどのために保育が必要な就学前のお子さんが増えたため、認定こども園、認可保育所、小規模保育事業所の整備を進めてきました。天童市は待機児童0人です(R5.4.1現在)。

保育士就職ガイダンスを実施

保育士と保育所等が面談する保育士就職ガイダンスを開催し、保育所等の保育士確保を支援しています。転入する保育士のアパート代を市が補助する保育士宿舍借上げ支援事業を行っています。



子育て関連施設マップ 令和5年度



子育て世代包括支援センター

健康センター内の子育て世代包括支援センターでは、母子保健コーディネーターが妊娠・出産・育児等の相談に応じています。妊娠後期に出産準備、育児に役立つ情報を提供するぴよママ安心バック事業や、産後に授乳指導や育児相談を行う産後ケア事業など、さまざまな形でお母さんを応援します。

病児・病後児保育

4ヶ所

お子さんが急の病気になって、保護者が仕事などで保育ができない場合、一時的にお子さんをお預かりします。

子育て支援センター

9ヶ所

子育て未来館げんキッズやわらべ館、保育園内にある子育て支援センターでは、乳幼児とその保護者に、遊びとふれあいの場を提供しています。電話での子育て相談も受けつけます。

一時預かり

6ヶ所

仕事や出産、傷病、買い物、美容室を利用するときなど、家庭での保育が一時的に困難になるお子さんをお預かりします。

ファミリー・サポート・センター

子育ての手伝いをしてほしい方と子育てのお手伝いをしてくださる方が会員となり、地域で支え合うサービスです。げんキッズ内で受付を行っています。

放課後児童クラブ

30ヶ所

小学生のお子さんを持つ共働きの子育て家庭を支援するため、天童市では、放課後児童クラブ(学童保育所)の整備を積極的に進めてきました。市内には全ての小学校区に放課後児童クラブがあります。平成25年度以降19クラブを新たに整備し、30クラブが運営しています。

04 支援 *Support*



子育て支援

多胎児世帯ヘルパー派遣事業

双子以上を養育している家庭にホームヘルパーを派遣し、家事、育児等の支援を行っています。

発達が気になる子どもの支援

公認心理師が保育園等を巡回し、発達が気になる子どもについてアドバイスしています。健康センター内に発達支援室「すこやかルーム」を開設し、公認心理師が子どもの発達についての相談に応じています。

経済的支援

小中学校入学応援金 / 小学校・中学校に入学したお子さんがいる家庭に応援金10万円

**てん
エール天(10)**

お子さんの小学校・中学校への入学を祝い、一人当たり10万円を応援金として支給します。山形県内で初めての取り組みです。



高校3年生(18歳)まで 医療費が無料

天童市では、高校3年生までの医療費が無料です。所得制限はありません。

第3子以降の 保育料が無料

認定こども園や保育園等に入園しているお子さんが第3子以降の場合、保育料等が無料になります。所得制限はありません。

幼児教育・保育無償

0歳児から2歳児は世帯の市民税課税状況に応じ、3歳児から5歳児は全ての世帯が、保育所等の保育料が無料です。

子育てファミリーにインタビュー

天童市に転入したご家族に、転居のきっかけやまちの印象などについて、お話を伺いました。



01

とよぼし 豊島 陸さん

私は大学進学を機に上京。東京で過ごすうちに、地元の空気が自分にぴったり合うと思うように。また、飲食を通じて、地元天童を盛り上げたいとの思いでUターンを決意しました。今は市内に少し遅めの昼食や昼飲みもできる居酒屋を構えています。妻は天童について、「自然豊かで子どもの遊び場や公園が充実しているのがいい」と言っています。店が休みの日には、わくわくランドやげんキッズ、天童高原などに家族で出かけています。中でも、わらべ館は子ども3人が思いきり遊びまわっても目が届くので安心して過ごせてお気に入りです。

武田 ミサさん

天童市は山形市へのアクセスがよく、通勤や通学に便利。子育て世帯への支援も充実しており、高校生まで医療費無料。小中学校入学応援金もあります。保育施設も増えており、子どもを預けやすく、げんキッズやわらべ館など、年齢に合った遊べる施設が充実しています。うちの子は走ったり、虫捕りが好きでなので、よく西沼田遺跡公園へ行きます。あとは天童高原。BBQセットがあって、手ぶらで行けるのがいい。走り回ったあとは日帰り温泉施設ゆびあへ。露天風呂が大きいので、天気の良い日は本当に気持ちが良いです。



02

05 教育 *Education*



充実した教育環境で 確かな学力と豊かな心が育つ。

県内でもいち早く、小中学校へのエアコン整備や、ICT環境の充実、第3子以降の小中学校給食費無料化を実施しました。英語教育を強化するなど、確かな学力と豊かな心の育成に努めています。



すこやかスクールプロジェクト事業

一人ひとりを大切にしたい教育活動を展開し、ニーズに応じてサポートしています。不登校の未然防止と学力向上のため、すこやかスクールプロジェクト事業を実施しています。教員等の資格を持つすこやかスクール支援員を全ての小学校に配置。特別な配慮が必要なお子さんや不登校のお子さんの支援を行っています。また、いじめ・不登校などの相談に対応するすこやかスクール相談員を、すべての中学校に配置しています。



スクールライフ充実支援事業

児童生徒が安心して学校生活を送ることができるような環境づくりを進めています。教育・福祉の専門知識を持ったスクールソーシャルワーカー(SSW)が、不登校などの課題解決に向けて細かく対応し、学校と家庭をつなぐ重要な役割を担っています。

充実した学校設備

他自治体に先駆けて、普通教室だけでなく特別教室にもエアコンを完備。使いやすくきれいな洋式トイレへの改修、明るく環境にも優しいLED照明への改修も計画的に進めています。

英語教育の充実

市内全ての小中学校で、ALT(外国語指導助手)が小学3年生から中学3年生の英語の授業で指導補助を行っています。また、中学生を対象に英検受験料を全額補助。英検合格を目標に、英語学習を頑張る子ども達が増えています。



ICT教育

全ての小・中学生に1人1台タブレット端末を貸与し、ICT環境の充実を図っています。個別に最適化された学習環境を実現するとともに、協働的な学びにより思考を深め、根拠を明らかにし、論理的に考察する力を育みます。



第3子以降

小中学校給食費が無料

18歳未満のお子さんを3人以上養育している場合、第3子以降の小中学生の給食費が無料になります。所得制限はありません。



学習支援室「リバテラスちえふる」

天童駅ビル内に、誰でも無料で利用可能な学習支援室があります。60席の個別の机には専用照明が設置されています。防音対策やWi-Fi環境も整っており学習に専念できます。(利用時間 平日10:00~21:00 土日祝日9:00~20:00)



06 遊び場 *Playground*

屋内型の大型遊戯施設が無料。 子どもの遊び場や公園が充実。

屋内型の大型施設の子育て未来館げんキッズが大人気。

そのほか、夏はわくわくランドの噴水広場での水遊び、

冬は天童高原でスキーが楽しめます。舞鶴山(天童公園)に

県総合運動公園など、市内には親子で遊べる公園がたくさんあります。



子育て未来館 げんキッズ げんキッズに週7で通えます

小学生までのお子さんを対象にした遊戯施設です。特に、6メートルの高さから滑り降りるラ・フランスタワーは迫力満点! このほかにも様々な遊具があり、保護者も一緒に楽しめます。また、子育て相談も受け付けています。



ラ・フランスタワー



ふわふわトランポリン



ハイハイ広場

わらべ館

主に乳児と保護者の遊びとふれあいの場です。子育て相談も受け付けています。



わくわくランド

晴れた日はわくわくランドへどうぞ。屋外の大型複合遊具をはじめ、夏は水遊びが楽しめる噴水広場が人気です。



舞鶴山(天童公園)

市民の憩いの場所です。愛宕沼周辺はウォーキングコースにピッタリです。4月には山頂広場で人間将棋が開催され、多くの人でにぎわいます。



天童高原キャンプ場・スキー場

5月から11月のグリーンシーズンはキャンプ場として、12月から3月のホワイトシーズンはスキー場として営業します。天童高原地域交流センターには、食堂のほか、授乳室があり、小さいお子さん連れでも安心です。



07 スポーツ Sports

プロスポーツチームと 創るスポーツのまち。

天童市は、サッカー J2モンテディオ山形、プロバスケットボールB2リーグ山形ワイヴァンズのホームタウンです。市民、各種団体、企業などの団体が構成するホームタウンTENDO推進協議会を組織し、プロスポーツチームの情報発信、市民らとの交流と支援を行っています。豊かなスポーツのまちに本拠地を置く、2つのプロスポーツチームの担当者にインタビューしてきました。



©MONTEDIO YAMAGATA

モンテディオ山形



©Passlab Inc.

山形ワイヴァンズ



Wyverns

天 童市にある山形県総合運動公園内にホームスタジアムを構えるプロサッカーチーム「モンテディオ山形」は、試合開催時にサッカーの試合だけでなく、「Jリーグ屈指の「スタジアムグルメ」・小さいお子様でも楽しめる『こども縁日』など、山形県・東北でも最大級のテーマパークとして、イベントを開催しております。また、昨年

は平日のお昼に試合を開催し、天童市内の小中学生を約1,500人を無料でご招待させていただき、教育×スポーツを掛け合わせたイベントを開催いたしました。モンテディオ山形は、スポーツの力を通じて、天童市内の子育て支援に力を入れています。

山 形ワイヴァンズのホームアリーナは山形県総合運動公園。今シーズンは改修工事のため2023年内は使用できませんが、2024年2月以降に10回ホームゲームが開催される予定です。ホームゲームでは、プロの迫力あるゲームが楽しめます。会場が一体となって行う応援やタイムアウト毎に登場するチアダンスも見所の一つ

です。また、専属コーチや選手からの指導が受けられるバスケットボールスクールもあり、プロ選手への夢が広がります。さらに、チアアカデミーもあり、子どもたちが試合に出演し会場を盛り上げます。天童市は、アマチュアから本格的なプロの試合まで、スポーツを観る・楽しむことができる魅力が溢れる素晴らしいまちです。

08 働く Work



このまちで 仕事に生きがいを見つける。

1次産業、2次産業、3次産業がバランスよく備わっている天童市。

天童市で働く人や新工場建設中の企業に、仕事の魅力や天童市のいいところについて伺いました。



天童で働く人にインタビュー



農業 寺岡 祐さん

生まれも育ちも天童。農業をやってみたいという思いから生命保険会社で営業の経験を積み、販売先の確保のための力を身につけました。

27歳のときUターン。1年間の研修を受けて祖父母の農地を受け継ぐと、ラ・フランス生産量日本一という天童のブランド力を活かして「洋なし屋iGUSL」を立ち上げました。

食べていくにはまだまだで、就農5年目まで受けられる県の補助を活用しながら、収穫量の確保と質の向上を目指しています。

最近は農家の高齢化により遊休農地も増えています。首都圏に住んでいる人でも、週末だけ手伝いに来て、空いた畑ができたなら紹介してもらおう等の方法で、仲間ができたらすごく嬉しいですね。これからは、農業ボランティアの受入れの準備を進めていく予定です。

天童に新工場立地の企業にインタビュー



株式会社メイコー

私たちメイコーは、電子回路基板の製造と電子機器の開発製造を行っている会社です。企業向けの電子部品をつくる会社なのでメイコーを知らない方も多いと思いますが、実は電子回路基板では業界トップ。自動車やスマートフォンをはじめ、あらゆる身近な電子製品の中に、メイコーの製品は使われています。

本社は神奈川県綾瀬市ですが、製造拠点は東北と海外に多くあります。山形県内には、河北町に電子回路基板の製造をおこなう河北工場があり、米沢市と南陽市には電子機

器の開発製造をおこなう拠点があります。そのため、既存の拠点と連携しやすい地域として、天童市が候補に挙がりました。天童市は豊かな自然からなるきれいな水質のため、精密部品である電子回路基板の製造に適した土地です。また、将棋の聖地として全国的に有名で、当社のお客様に説明がしやすいことも決め手の一つとなりました。

天童工場は「エコスマートファクトリー」のコンセプトのもと、天然ガス(LNG)採用によるCO2排出量削減や自家消費型太陽光発電の導入など、環境にやさしい事業活動をおこないます。自動搬送ロボットを活用した最先端の設備で、自動車の自動運転やEV化向けの製品をつくる天童工場は、メイコーとしては国内最大級の生産拠点になる予定です。

メイコーでは工場で働いてくださる方や開発エンジニアの方を広く募集していく予定です。

商号：株式会社メイコー／設立：1975年（昭和50年）11月25日／代表者：代表取締役社長 名屋 佑一郎／本社：神奈川県綾瀬市／資本金：128億8,800万円／上場：東京証券取引所 プライム市場／事業内容：電子回路基板の設計製造、電子機器の開発製造／売上高：1,512億7,500万円(2022年3月末)／従業員数：グループ14,115名(単体：725名、日本：1,248名、海外：12,867名)

会社紹介動画を公開中
(メイコーTV)



工業団地が次々完成

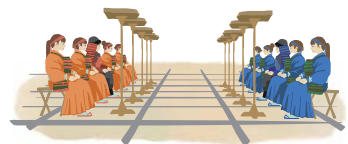
市内には8つの工業団地があり、世界トップレベルの技術を持つ企業や、全国的にも知られている企業がたくさんあります。新たな工場の建設により、働く場所が着実に増えています。

山口西工業団地

国道13号と国道48号に近く交通の利便性が高い山口西地区に整備され、令和2年度に分譲を開始しました。地盤が強固で自然災害も少ない工業適地であり、株式会社メイコーをはじめ4社が立地し、分譲率は90%を超えています。



09 イベント Event



イベントが盛りだくさん。
子どもと一緒に出かけよう。

2月 天童高原スノーパークフェスタ
(天童高原)



天童高原スノーパークフェスタ

2月
3月 天童雛飾り
(天童織田の里歴史館等)



天童雛飾り

4月 天童桜まつり／人間将棋
(舞鶴山)



天童桜まつり



天童つつじの里まつり

5月 天童つつじの里まつり
(舞鶴山)

7月 おくのほそ道 天童紅花まつり
(上貫津紅花畑)



おくのほそ道 天童紅花まつり



天童夏まつり

8月 天童夏まつり
(天童温泉～わくわくランド)

11月 令和鍋合戦
(山形県総合運動公園)



令和鍋合戦



天童ラ・フランスマラソン



10 移住・転入する方への支援制度 (令和5年度)

住宅を購入する方へ

天童市に住宅を建築、購入する費用を補助します。

住宅を改修する方へ

天童市内の住宅を改修する費用を補助します。

結婚を機に天童市で新生活を始める方へ

結婚を機に天童市で新生活を始める新婚世帯に、住宅の賃借費用や引越費用を補助します。

新たに農業を始める方へ

就農に関する相談や就農に必要な準備などをサポートします。

新たにお店を始めたい方へ

中心市街地等の活性化のため、天童市内の空き店舗に出店する事業者を支援します。

東京圏から天童市に移住する方へ

東京圏から天童市に移住して就業等した方に、移住支援金を支給します。

それぞれの支援制度には条件があります。最新情報やほかの支援制度等、詳しくはお問い合わせください。

問合せ／てんどう移住の窓口（天童市市長公室） Tel.023-654-1111 e-mail.machi@city.tendo.yamagata.jp

山形県天童市
移住ポータルサイト

すまい



はたらく



移住支援



11 マップ Map

市内施設紹介

子育て未来館 げんキッズ

利用料無料の全天候型施設で、親と子だけではなく子どもや保護者同士の交流もできる子育て支援の拠点となっています。



山形県総合運動公園

市民のみならず県民のレクリエーション活動の場として整備されました。総面積56.1haで、各施設が幅広く利用されています。



天童高原

夏はキャンプ場、冬はスキー場として活躍しています。市民の憩いの場として、自然体験を後押ししてくれる施設です。



天童公園(舞鶴山)

まちのシンボルとして市民に親しまれており、春には約2000本の桜の下で「人間将棋」がおこなわれます。



SUMUNARA TENDO 紹介施設

02 住環境 (p06-07)

- 1 天童市美術館
- 2 天童市立図書館
- 3 天童市市民文化会館
- 4 天童市市民プラザ
- 5 天童市民病院
- 6 山形県総合運動公園

03 子育て (p08-09)

子育て関連施設マップをご覧ください (p08-09)

05 教育 (p12-13)

- 7 学習支援室「リバテラスちえふる」

06 遊び場 (p14-15)

- 8 子育て未来館 げんキッズ
- 9 わらべ館
- 10 わくわくランド
- 11 舞鶴山(天童公園)
- 12 天童高原キャンプ場・スキー場

-大規模小売店舗-

- …スーパー
- …ドラッグストア
- …ホームセンター

←至寒河江

天童高原 12